

3. 担い手育成事業

(1) 越境地域マネジメント講座

事業協働応用講座（三遠南信）

本センターでは、大学教育に研究実績を還元すべく、2020年度より「総合科目」を開講しており、今年度で4年目となる。この総合科目の講義テーマは「三遠南信の地域経営」であり、三遠南信地域における現状や課題をめぐって、それぞれ行政や民間からのゲストスピーカーによる講義を基に、各自が実践的に理解し、三遠南信地域について総合的に理解できるようカリキュラムを設定している。なお、この科目は文学部および地域政策学部を対象とした共通教育科目であり、ゲストスピーカーは表1の通りである。

第1回、センター長による講義の概要説明と本センターの活動についての講義から始まり、第2回は、経済界の連携事例として、東三河地域研究センターの高橋大輔常務理事・調査研究室長から、この地域で運行されているレストランバスについて、第3回も同じく経済界の連携事例として、豊橋信用金庫の宮川直樹常務理事から、経済界の連携事例として信用金庫における地域との関わりなどについて講義を受けた。第4回では、奥三河観光協議会の安彦誠一事務局長から、奥三河地域の観光振興とブランド事業の紹介や観光業界へのコロナ禍の影響について、第5回では、三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の河野和世事務局長から、行政界の連携事例として三遠南信地域における広域連携の現状についての講義をそれぞれ受けた。

第6回では、外部人材によるまちづくりとして、現役の地域おこし協力隊員である山崎洗一隊員から地域おこし協力隊の活動や課題について、また、活動を終了した元地域おこし協力隊員である戸上直哉氏、戸上麻美氏から、活動終了後の現地でのまちづくり活動についての講義を受けた。第8回、第9回は自動車産業をテーマとし、それぞれスズキ株式会社次世代モビリティサービス本部次世代モビリティサービス事業部の藤谷句生部長、松本祥弘事業企画グループ長から、自動車産業の変化や今後の事業展開の可能性、また自動車産業の新しい技術やサービスの展開をふまえた自動車業界の新しい取り組みに関する講義を受けた。

10月22日（第7回に該当）には、学外授業として日本三大軽トラ市の一つである「しんしろ軽トラ市のんほいロット（愛知県新城市）」を訪問し地域活性の現場を体感した。それを受けた第10回では、「しんしろ軽トラ市のんほいロット」から、森一洋スタッフ

リーダーと三輪信之スタッフサブリーダーによる軽トラ市開催の歴史や運営状況、課題についての講義を受けた。第12回では、本学の藤田佳久名誉教授から歴史的側面からみた三遠南信地域の地域特性に関する講義を、また第13回では、株式会社うちうらの内浦有美代表取締役社長から、妖怪をキーワードにこの地域文化資源の概要やそれを活かしたまちづくりについて講義を受けた。

途中、第11回と第14回では、講義最終回（第15回）の成果発表会に向けたワークショップを各グループで行った。発表テーマを、「学生が企画する〇〇軽トラ市」、または「三遠南信地域の〇〇ツーリズムを企画してみよう」から選び、発表内容の議論や資料データの収集、発表スライドの作成などを各グループで行った。

最終回の成果発表会では、各グループによる三遠南信地域の地域特性を活かした各種ツーリズムや軽トラ市の企画などについて発表がなされた。いずれの発表も、この三遠南信のさまざまな特性を活かした興味深い提案となっており、この講義で学んだ成果が表れた発表となった。



講義①



講義②



軽トラ市見学



ワークショップ



成果発表会①



成果発表会②

写真1 総合科目風景

表1 2023年度春学期 共通教育科目 三遠南信の地域経営

回	開講日		担当講師	講師所属・役職	講演内容
1	9月21日	木	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長 愛知大学地域政策学部 教授	講義概要と三遠南信地域連携研究センターの活動：本講義の概要説明、また本センターにおける調査研究および事業活動についての講義。
2	9月28日	木	高橋 大輔	公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長	経済界の広域連携①—レストランパスを自衛として—：レストランパスの概要や広域連携の現状、課題についての講義。
3	10月5日	木	宮川 直樹	豊橋信用金庫 常務理事	経済界の広域連携②：三遠南信地域における地域金融機関の役割とその取り組みについての講義。
4	10月12日	木	安彦 誠一	一般社団法人奥三河観光協議会 事務局長	まちをつくるこれからの観光：奥三河の観光振興とブランド事業の紹介やコロナ禍での現状についての講義。
5	10月19日	木	河野 和世	三遠南信地域連携ビジョン推進 会議（SENA）事務局長	行政界の広域連携：三遠南信地域の広域行政の歴史や現状、課題、つながりなどについての講義。
6	10月26日	木	山崎 洗一 戸上 直哉 戸上 麻美	地域おこし協力隊 隊員 元地域おこし協力隊 隊員	外部人材によるまちづくり：地域おこし協力隊の概要や活動内容のほか、隊員活動終了後のまちづくり活動についての講義。
7	11月2日 (10月22日)	木 (日)	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長 愛知大学地域政策学部 教授	学外授業：しんしろ軽トラ市のんほいルロット（10/22開催）を見学し、地域活性のリアルな現場について現状把握。
8	11月9日	木	藤谷 旬生 松本 祥弘	スズキ株式会社 次世代モビリティサービス本部 次世代モビリティサービス事業部 部長 スズキ株式会社 次世代モビリティサービス本部 次世代モビリティ事業部 事業企画グループ グループ長	自動車産業の現在の戦略：「自動車産業が直面する100年に一度の大改造」をテーマに、自動車産業の変化や今後の展開の可能性について、また自動車産業の技術革新などに関する講義。
9	11月16日	木	松本 祥弘	スズキ株式会社 次世代モビリティサービス本部 次世代モビリティ事業部 事業企画グループ グループ長	自動車産業の新技術展開：自動車産業界における新しい技術やサービスの展開について、またそれをふまえたスズキの新しい取り組みに関する講義。
10	11月30日	木	森 一洋 三輪 信之	しんしろ軽トラ市のんほいルロット スタッフ リーダー しんしろ軽トラ市のんほいルロット スタッフ サプリーター	持続的な地域活性化策の一手法である軽トラ市の取り組み：軽トラ市の実施にいたるまでの歴史や概要、実際の運営状況や課題、また軽トラ市を活用した地域活性化への取り組みについての講義。
11	12月7日	木	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長 愛知大学地域政策学部 教授	ワークショップ①：成果発表会に向けたワークショップの実施
12	12月14日	木	藤田 佳久	愛知大学 名誉教授	歴史の視点からみた地域特性・課題：三遠南信地域の歴史的なおつながりやその形成課程についての講義。
13	12月21日	木	内浦 有美	株式会社うちうら（ぱったり堂） 代表取締役社長	文化とまちづくり—妖怪物語—：豊橋市における地域文化資源の発掘や、それらを生かした地域活性化に関する講義。
14	1月11日	木	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長 愛知大学地域政策学部 教授	ワークショップ②：成果発表会に向けたワークショップの実施。
15	1月18日	木	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター センター長 愛知大学地域政策学部 教授	成果発表会：全7グループによる最終成果発表の実施。これまでのゲストスピーカーも参加しディスカッションが行われた。

(2) 「東日新聞連載『学生地域貢献事業』」冊子の発行

本書は、東日新聞に2023年2月14日から3月12日にかけて連載された「学生地域貢献事業」を再録したものである。

連載のきっかけは、東海日日新聞社より地域政策学部との連携の可能性について相談があったことである。その際に、学生地域貢献事業団体の活動に興味をもっていただき、活動を紹介する連載記事を掲載することになった。学生たちの活動を地元メディア（新聞）で紹介いただけることは、教職員にとっても願ったり叶ったりのことである。地域政策学センター事務局の協力を得て、学生と記者との調整を行い、2022年度に活動した22団体に対して、取材が進められた。

サイズはA5版、本文24ページとし、800部印刷した。本書は2024年度以降、本学部の学生を中心に配布する。学生たちにとって、自分たちの活動が地域に向けて発信されたことで、自分の価値を高めたり、自己実現につながったりすれば嬉しく思う。またそれは、学生たちの活動をご理解いただいたり、受入れていただいたりしている地域の皆様のご協力あってのことに他ならない。少しでも本書が今後の「学生地域貢献事業」の発展につながるものになるならば、望外の喜びである。

連載記事の再録をお許しいただいた東海日日新聞社の皆様にお礼申し上げます。



図1 ブックレット表紙

表1 ブックレット目次（記事一覧）

- 愛知大学地域政策学部 駒木・菊地教授に聞く
「新しい方向性・活動見いだして」
- 豊橋学生フリーペーパー PLEND!
「学生のためのフリーペーパーを発行」
- 花園ぶらす
「豊橋・花園商店街に貢献」
- AC浜松
「天竜二俣の活性化に活動」
- のんほいToyohashi
「SNSで豊橋の魅力発信」
- TOYO tube
「東三河の情報を動画で発信」
- にこまる
「結婚や少子化問題に向き合う」
- とよっ子応援団
「子どもたちに居場所を」強い思い」
- AIPRO
「豊川市役所と連携情報発信など活動」
- REGO
「名鉄西尾・蒲郡線の存続に活動」
- vegefarm
「豊川産の大葉をPR メニュー開発」
- ぶー・ふー・うー
「食や農に関心を 今年度は食育」
- BOすTOん
「外国人児童、生徒の学習支援」
- おいでん喫茶
「高齢者を笑顔に」
- トラい☆わたし
「磐田市のまちおこしに貢献」
- SMILE
「児童養護施設で学習サポート」
- ACCOMPANY
「豊橋市と知立市の魅力発信」
- oasis
「買い物を毎日楽しく」
- START UP
「新都市などの魅力を発信」
- ミッケ隊
「軽トラ市で地域を「見つけ」」
- みるフル
「食品ロスの削減に向けて」
- 森の子
「東三河の自然を守る」
- はあとふる
「聴覚障害児たちを支援」